

# こころの便り

第220号

平成30年7月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二  
株式会社 新宮運送グループ  
代表/木南 一志  
kininami@shingu.co.jp  
電話 079-11-75-1212

## 地震が繋ぐ

大阪北部地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。亡くなられた方の中でも小学生の女の子の死はあまりに悲しいことでした。あいさつ当番だったとのこと、きつと少し早く家を出て、いつものようにプールの横を歩いていたのでしよう。痛かったろうにと思うと可哀想でなりません。全国でいつ大地震が起きても不思議ではなくなっています。備えることしかありませんが、日頃から今回のようなところに視線を向けることで改善すべきことが見えてくるはずです。

福島に行ってきました。多くの皆様のご支援のおかげで、三年間に及ぶ『綿毛にのって』第一集から第三集の販売にご協力をいただき集まった浄財を福島県内のいろんな施設に寄附させてもらうことができました。ありがとうございます。

昨年、写真家の矢口洋子さんから来年は福島に来てくださいと予定を決められての訪問でした。予想を大きく上回る心の温まるおもてなしに恐縮しながらも、素晴らしい福島の自然、そして、子供たちを支える施設を運営されておられるリーダーの皆様にお会いすることができて、励ます側の私の方が逆に元気をいただきました。行ってよかったです。正直な感想です。

両陛下が全国植樹祭で福島を訪問される三日前に同じ場所をご案内いただきました。一步会で被災地を支援されておられる安齋作子先生もご同行くださいました。絶大なご協力をいただいた方でもあります。今でも心から離れない風景は、浪江

町の請戸漁港です。村ごと津波に消えて、原発事故のために帰還することさえ許されず、今は草が伸び放題の景色でした。遠く漁港のあったところは高い防波堤の建設作業がようやく少し進み始めて、大型ダンプの渋滞の列でした。

慰霊碑のある墓地から眺めると、見たこともない漁港につながる家々が見えるようでした。ある子は友達の家遊びに来ていて、津波にさらわれて帰ってこなかったと話してくださる矢口さんが地元の門馬よし彦さんが歌う「願い」という歌を教えてください、検索してその場で聞かせてもらいました。草の上を吹き抜けていく風がたくさんの人の魂のように思えて、強く吹きつける風の中、涙が止まりませんでした。今もなお、家があった場所に戻ることのできない人がたくさんおられることを思うと幸せすぎる時間の中で不満を言っている自分が情けなくもあります。

両陛下がここを寄せておられる福島へ、いつまでも忘れることなく心を寄せていたいと思える旅になりました。

いろんな災害が起きてくる我が国土ですが、お互いに支えあい、助け合いながら子供たちについていきたいと思います。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

『綿毛にのって』第一集、第三集はまだ在庫がございます。売り上げは経費を除いて福島への支援に使わせていただきます。

## 尋常小學校修身書 卷五 兒童用

### 第十課 孝行

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。

昔山城の川島村に儀兵衛といふ人がありました。生まれは京都でしたが、生まれるとすぐこの村の貧しい家にもまれて来ました。十歳の時、養父に死別れ、それから三十九年の間、身體の弱い養母に事へて、一心に孝行を盡しました。家には少しの田地もないので、儀兵衛は人に雇はれて、農業の手傳などとして、やつとくらしを立てました。毎朝早く起きて、母の食物やつかひ水などをそれと用意して、仕事に出て行きました。仕事が終わると急いで歸つて来て母に安心させ、毎夜湯をつかはせ、又身體をなでさするなど、何事にもよく氣をつけていたはりました。儀兵衛は貧しい中にも、母だけには着物や食物に少しも不自由させないやうに心がけ、母のたべたいといふ物はすぐにと、のへ、母のこころよくたべるのを見て喜びました。又母の氣づかひさうなことは、なるだけ聞かせないやうにし、母の喜ぶことは骨身を惜しまず何でもしました。人に雇はれて京都や伏見に行き、用事がひまどつて歸りがおそくなることもありましたが、そんな時には、母は待ちかねて、歩行も不自由なのに、杖をついて半町ばかりも迎へに出て待つてゐます。やがて歸つて来た儀兵衛の顔を見ると、母は大そう喜んで涙を流し、儀兵衛も母の迎をありがたがつて涙をこぼし、二人とももの言へないで立つてゐます。しばらくして儀兵衛は買つて来た土産を母に渡し、手を引いて家に歸つて行きます。近所の人はこのやうすを見て、誰でも感心しない者はありませんでした。この孝行のことが時の天皇の御耳にはいつて、儀兵衛は御褒美をいただきました。